

◆ 研究分野	・精神医学 ・精神神経科 ・精神神経薬理
◆ キーワード	・うつ病、躁うつ病の客観的診断 ・テラーメイド医療 ・セカンドオピニオン
◆ 産業界での応用の可能性等	・セカンドオピニオンとして難治性のうつ病の独自の診断や相談 ・アドバイスのカウンセリングを行うシステムを確立し独特なコンサルタント業務を構築する
◆ 共同研究・受託研究可能なテーマ	・正確な気分(感情障害)の診断とその治療
◆ 利用可能な設備・機器等(共用機器も可)	・光トポグラフィー脳機能測定器
◆ 関連の知的財産等	・ゲノスキャン・テラーメイドサービス ・サイコスキャンテラーメイドサービス(商標)
◆ 所属学会	・日本臨床精神神経薬理学会(認定医) ・日本外来精神医療学会(評議員)

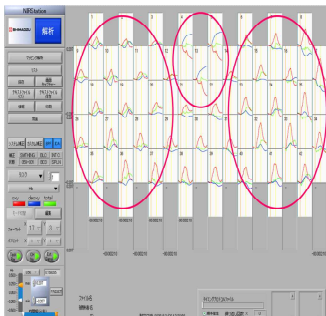
## 研究紹介 (概要)

### かくれ躁うつ病の客観的および問診による診断 —セカンドオピニオンとしてのカウンセリング・テラーメイドサービス—

- 1) 性格検査は主要 5 因子性格検査を使い、協調性、勤勉性、外向性、情緒安定性、知性の 5 つの因子を調べて病前性格をカウンセリングします。また、本研究室オリジナルの鑑別診断のガイドラインを使ってかくれ躁うつ病を鑑別します。
- 2) 遺伝子検査は主に薬物代謝酵素 CYP2D6 の活性にかかわる遺伝子多型と、アルコール代謝酵素 ALDH2 遺伝子多型を調べて向精神薬やアルコールに強い体質かどうかの結果をカウンセリングします。
- 3) 客観的診断として脳の賦活をイメージングする機械を使ってうつ病、躁うつ病に特異的なパターンを解析して客観的に診断の一助とします。

#### <当該研究内容の概要>

うつ病と誤診され、間違った診断や間違った治療でリストカット、食べ吐き、アルコール依存やギャンブル依存などが止まらない、すぐキレル等の症状が続く難治性の遷延する躁うつ病に早く気がついてもらうための診断、アドバイスをセカンドオピニオンとしてコンサルタントします。また、性格検査を行い病前性格を診断したり、抗うつ薬の副作用の出やすい体質を薬物代謝酵素 CYP2D6 の遺伝子多型を検査することで予測し、飲んではいけない薬物の組み合わせなども説明します。クライアントは病院からの紹介やインターネットで申込者を募ります。



#### 社会、産業界への PR

##### <社会、産業界と交流を深めたい内容や PR>

簡便な遺伝子検査キットの開発や特許化、さらに性格検査や遺伝子検査の結果の説明とカウンセリングができる人材の育成にご協力いただける企業を探しています。ご興味のある方は一度お気軽にお声をかけてください。世のため人のために役に立つ医療、研究、人材を育てていきたいと考えています。

職名	教授		
氏名	岩橋 和彦		
ローマ字	IWAHASHI KAZUHIKO	学位	医学博士
所属学部等	生命・環境科学部	所属学科等	臨床検査技術学科
所属研究室等	健康管理センター・生理学	URL	http://genoscan.client.jp/index2.html